

## 市長提案説明要旨

平成27年12月3日

本日ここに平成27年第4回鹿嶋市議会定例会の開会に当たり、市政運営に関する所信の一端と、当面の事業概要並びに提出しました議案などの説明を申し上げます。

### (はじめに スポーツ先進のかしま)

去る10月31日、埼玉スタジアム2002で開催された、2015 Jリーグ ヤマザキナビスコカップの決勝戦において、我らの鹿島アントラーズが、昨シーズンの覇者であるガンバ大阪に見事勝利し、3年ぶり6度目の栄冠を手にしました。

2012年シーズンのナビスコカップ制覇から3年。Jリーグ史上で歴代最多となる通算17個目となる国内主要タイトルは、次代を担う世代の成長と自覚を加速させ、常勝軍団の哲学と伝統をつむいだ証であり、新たな黄金期の幕開けを予感させるものでした。

振り返れば、これまで22年間、私たち市民は、アントラーズのホームタウンとして、ともに喜びを分かち合ってきました。しかし、「常勝軍団」と呼ばれたチームにあっても、世代交代の中で、選手とフロントがともに苦しみ、そして絶えず努力してきたことも、周知の事実であります。この度の栄冠は、次代を担う世代が、自らの力で臨み、自らの力で勝ち取ったものであり、この感激を市民の皆様と共有できることは、市政を預かる者として無限の喜びであります。

一方、リーグ戦のセカンドステージにおいては、最終節まで優勝争いを繰り広げながら、惜しくも2位。年間勝点で5位と、残念ながらチャンピオンシップへの出場権を手にすることはできませんでした。私たちに最後まで、夢を与えてくれました。

来期には、“18度目のその瞬間をともに目指して”，歩んでいきたいと思っておりますので、多くの市民の皆様に、スタジアムに足を運んでいただき、熱き声援をお願いいたします。

### (国内情勢)

次は、国内の社会経済情勢であります。

内閣府の月例経済報告(11月)によりますと、景気の基調判断を、「一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」と、1年ぶりに下方修正した前月を据え置きました。これを受け、先月発表された7月から9月にかけての実質国内総生産(GDP)の速報値では、物価変動の影響を除いた実質で、前期比0.2%減となり、2四半期連続のマイナス成長に沈んでしまいました。中国

経済の不透明感などを背景に、企業の設備投資が前期比1.3%減と、予想以上に落ち込んだことが主因のようですが、2四半期連続のマイナス成長は、少しの外的要因によって、デフレ脱却が遠のく日本経済の足腰の弱さを露呈したものと感じております。

このような社会経済情勢のもと、安倍首相は、我が国の構造的な問題である少子高齢化に真正面から挑み、「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の「新・三本の矢」の実現を目的とする「一億総活躍社会」を政策の目玉に据え置き、「名目国内総生産(GDP)600兆円の達成」をはじめ、「介護離職ゼロ」や「希望出生率1.8」の実現など、経済と社会保障に焦点を当てる姿勢を明らかにしました。

これらを受け、政府は、「一億総活躍社会の実現」に向けて、「緊急に実施すべき対策」を取りまとめたほか、環太平洋パートナーシップ協定(TPP)発効に備え、農家や中小企業向けの支援策を盛り込んだ「TPP関連政策大綱」を決定するなど、経済に関する重要政策を矢継ぎ早に打ち出しました。

いずれも、緊急に対応すべき施策は今年度の補正予算において、また、その他の施策は来年度予算や来年の通常国会での法改正などでの対応が進められていますが、今後も、国の動向について、これまで以上に注視しながら、市民生活の安定と地域経済の活性化に向けた施策を適時適切に実施できるよう努めてまいります。

### <事業の概要等>

続いて、鹿嶋市のまちづくりの実績と当面の事業概要について、ご説明申し上げます。

#### (当初予算編成)

現在、国の予算編成方針や経済対策の動向に迅速かつ柔軟に対応できる態勢をとりながら、新年度の予算編成を進めております。

平成26年度一般会計決算において、経常収支比率及び公債費負担比率がそれぞれ上昇し、地方債現在高が増加する一方、財政調整基金残高は減少するなど、財政の硬直化が進みつつあります。なかでも、財政調整基金残高は、平成23年度末残高34.8億円に対し、平成27年度末残高見込み21.7億円と、約13億円減少しており、特に注視しなければなりません。

平成28年度の財政見通しにつきましても、歳入の根幹をなす税収は、全体として減少傾向にあります。一方、歳出においては、国の社会保障制度改革、市独自の子育て支援施策などに伴う扶助費の増や、築数十年を経た公共施設の更新・維持管理・老朽化対策などによる歳出増が見込まれることから、財政運営は極めて厳しい状況が続くものと予想しております。

新年度予算においては、ここ数年、悪化の一途をたどる財政状況を踏まえ、「財政再建元年」と位置づけ、財政調整基金残高の維持、市債残高の縮減、経常収支

比率の改善, 実質単年度収支の赤字解消に向けた取組みを鋭意推進するとともに, 少子高齢化対策, 子育て支援, 公共施設の老朽化対策など, 差し迫った課題に対し, 次年度以降の財源不足も考慮しながら, 計画的に対応していかねばなりません。

このため, 第三次鹿嶋市総合計画に基づく実施計画に沿って, 主要施策を段階的に推進し, 限られた財源の中で効率的, 効果的に事業を展開してまいります。また, 現在策定中の「第六次行財政改革行動計画」に位置付けられた取組みを着実に推進するとともに, 市議会による事業評価や庁内で実施した行政評価により, 既存事業の拡大・縮小・廃止の必要性を見極め, 費用対効果, 行政の責任範囲, 事務の効率化などを十分に精査・検証し, 事業の選択と集中に基づいた予算編成に努めてまいります。

### (住みよいかしま)

市では, 少子化対策の柱として, 子どもの数や所得による「子育て格差」をなくすため, 第3子以降の子どもを“地域の宝”として支援する「子宝手当支給事業」を今年度からスタートしたところであり, 9月には, 385人のお子さんを対象に, 第1回目の給付を行いました。なお, 未だ申請されていない方もいることから, 広報や園だよりへの掲載, 乳幼児・就学児健診でのチラシ配布など, 積極的にPRを展開し, 周知徹底を図っているところです。引き続き, 2月末の第2回給付に向け, 円滑な事業の実施に努めてまいります。

また, 子どもの医療費無料化を図る市独自の「特別助成医療福祉制度」につきましても, 本年4月から対象年齢などの拡大により, 新たに約3,700人が該当になりました。このことにより, 保護者の皆様からは, 「医療費の心配がなくなり, 子育てに対する不安解消につながった。」などと喜びの声が寄せられているところです。

引き続き, 子どもたちの健やかな育ちに向けた支援に取り組み, 若い世代の経済的安定を図りながら, 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを推進してまいります。

高齢者の生きがいづくりを目的に, 鹿嶋市シルバー人材センターが準備を進めてきた「いきいきサロン・ひまわり」が, 今月24日にオープンする運びとなりました。

この施設は, 仲町にある「ヤマベ靴店」の空き店舗を活用したもので, リサイクル品の販売スペースや健康体操などの文化・趣味活動ができるスペース, さらに高齢者のサロン活動にも対応できる空間が整備され, 高齢者の新たな交流拠点となるほか, 宮中地区商店街の賑わいづくりにも貢献していただけるものと, 期待を寄せているところです。

サロンの開設に向け, ご協力いただいた関係各位に対し, この場をお借りして

深く感謝申し上げます。

横浜市内の大型マンションにおける、杭工事の施工データ改ざん問題を発端に、全国各地の公共施設へも懸念が広がっています。今回発覚した一連の不祥事は、近代建築の信頼性を根底から脅かすものであり、甚だ遺憾であります。

市においても、報道されている会社が下請けとなって、杭工事に携わっていることが確認されたことから、県経由で情報提供があった施設並びに過去10年間にわたり市が発注した建築工事について、徹底した調査を実施してまいりました。その結果、幸いにして、工事施工記録における記録データの改ざんなどは1件も確認されませんでした。また、測量機器を用いた測定や目視検査などの現地調査においても、特段の異状は確認されませんでした。

市では、これまでも試験杭施工時に監督員・設計事務所・元請現場代理人が立会い、地質調査データをもとに支持層や設計杭長の妥当性を確認しているうえ、納品検査や毎週の現地確認などにより、施工監理してきたことから、適切に施工されたものと認識しております。引き続き、不測の事態に備え、国や県と歩調を合わせながら、万全の態勢で臨んでまいります。

#### (活力あるかしま)

本市の最大規模を誇る市民参加型の一大イベントとして定着している、「第25回鹿嶋まつり」と「みんなのひろば2015」を、10月24、25日の2日間にわたり開催しました。両日も、さわやかな秋空が広がり、絶好のお出かけ日和であったことに加え、鹿島アントラーズによるオープンスタジアムと同時開催となったことから、過去最高の16万5千人の人出を記録し、スタジアム周辺は、終日にわたり盛況を極めました。

会場には、これまでで最高の146ブースが設置され、各団体の事業ブースや模擬店、特産品店にB級グルメなどが賑やかに立ち並び、市内外から来場された皆様には、存分に楽しんでいただけたことと思います。開催に当たり、ご尽力いただきました関係者の皆様方に、深く感謝申し上げます。

鹿島神宮においては、毎年恒例の菊花展が、11月1日から23日にかけて開催されました。今年は、神栖市や潮来市からも出展され、黄・白・ピンクなど約500鉢もの菊花が参道を色鮮やかに彩り、参拝客や七五三のお参りに訪れる方々の目を楽しませてくれました。

また、本市の玄関口となる鹿島神宮駅周辺では、魅力的な夜間の景観や賑わい創出など、冬のまちの魅力づくりを目的とした、恒例の「KASHIMA光のアート・ギャラリー2015」が、明日から1月11日にかけて開催されます。開催期間中には、クリスマスコンサートなどを計画しておりますので、多くの皆様に鑑賞していただきたいと思っております。

さらに、今月20日には、鹿島灘漁業協同組合魚市場において、毎年、好評を

博している「第9回鹿島灘はまぐり祭り」を開催します。当日は、日本一美味しいと評判の「鹿島灘はまぐり」の格安販売を始め、その場で海の幸を堪能できるバーベキューコーナー、体験乗船や模擬セリなど、盛りだくさんの企画を準備しておりますので、多くの市民の皆様に来場いただき、絶品の鹿島灘はまぐりを堪能いただきたいと思います。

今年は、戦後70年を迎える節目の年であります。11月8日には、市制施行20周年を記念して、太平洋戦争後期、現在の新日鐵住金鹿島製鉄所内にあった神之池海軍航空基地において、操縦訓練が行われていた特攻機「桜花」を題材にした映画「サクラ花・桜花最後の特攻」の上映会を開催しました。当日はあいにくの空模様でしたが、会場となった鹿嶋勤労文化会館ホールは、満席になるほどの盛況ぶりで、市民の皆様に関心の高さを肌で感じることができました。

先の大戦の記憶が風化していく中、この地であった歴史を多くの市民の皆様にご覧いただき、改めて戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ貴重な機会になったのではないかと考えております。

#### （人が輝くかしま）

学校教育の更なる充実を図り、子どもたちの健やかな成長に向けて、先生方ももとより、子どもや保護者の方々の総合的・専門的な支援を目的に、去る10月1日、鹿嶋市教育センターをオープンしました。以来、教育指導員による研修講座や教育相談、就学相談員による幼児・児童生徒一人ひとりの発達の状況や障害の状態に応じたカウンセリングなどを実施しています。

利用された市民の皆様からは、「来やすい、入りやすい、使いやすい」、「来てよかった」などの声を伺い、概ね順調なスタートが切れたものと考えています。

また、年明けの1月には、適応指導教室の機能も追加され、設立目的に沿った機能がすべて完備されることとなります。引き続き、教育支援の拠点施設として教育センターの機能強化を図ってまいります。

市では、これまで「人権の尊重・参画機会の平等・性の尊厳の確立」を基本理念に、「輝いて 自分らしく生きられるまち 鹿嶋」を将来像とした、鹿嶋市男女共同参画計画を策定し、その着実な推進に努めてまいりました。現計画が、今年度末をもって、計画期間の10年が経過することから、現在、第2次計画の策定作業を進めているところです。

その一環として、今月12日には、男女共同参画への理解と意識啓発を目的に、「男女共同参画推進フォーラム2015」を、大野ふれあいセンターにおいて開催します。当日は、報道番組でお馴染みの藻谷浩介（もたに こうすけ）氏を講師にお招きし、「地域活性化のカギ、男女共同参画 ～今、私たちができること～」と題して、日本社会が抱える地域の過疎化、少子高齢化という問題を克服する可

能性について、男女共同参画の視点から講演をいただきます。誰もが自分らしく生きられる社会を実現するため、私たちが家庭や地域でできることなどについて、市民の皆様とともに学びたいと思っておりますので、多くの方々の参加をお待ちしています。

市内各地区においては、9月下旬から11月中旬にかけて、それぞれのまちづくり委員会のご尽力により、住民体育祭や公民館まつりが開催され、子どもから高齢者まで多くの皆様で賑わい、大変微笑ましい光景が市内の至る所で見受けられました。

しかしながら、地域コミュニティの核となる自治会への加入率は、年々減少傾向にあります。近年の風潮である地域に対する帰属意識の希薄化などが原因であると考えていますが、人口減少社会の到来や少子高齢化が進展していく中において、地域コミュニティの維持・活性化は大変重要であり、市においても、最大の行政課題の一つとしてとらえているところです。

このような状況を踏まえ、地域づくりを考える機会として、今年度は、各まちづくり委員会関係者の皆様を対象に、地域ぐるみの子育てを切り口に、学校と地域社会の連携をテーマとした「まちづくり講座」を3回にわたり開催しているところです。さらに、今月19日には、エッセイストやニュースキャスターとしてお馴染みの見城 美枝子（けんじょう みえこ）さんによる講演会を大野ふれあいセンターにおいて開催します。今後も、地域の皆様と連携を図りながら、誰もが安心して暮らすことができる地域コミュニティの充実に向けた取組みを、順次進めてまいります。

市制施行20周年を祝して、12月13日に、鹿嶋勤労文化会館ホールにおいて開催される「市民第九交響曲コンサート」を間近に控え、先月23日には、公募による市民合唱団と4人のソリスト、そしてオーケストラの皆様など、出演者全員による合同練習が行われました。本番まで、残り10日となり、これまで半年間にわたり行ってきた練習は、総仕上げの段階を迎えております。

市民の皆様におかれましては、是非コンサートへご来場いただき、「芸術文化の香るまち鹿嶋」の新たな歴史の幕開けを感じていただくことで、歓びに満ちた年末年始をお迎え願いたいと思います。

#### （頼もしいかしま）

10月31日には、豊郷小学校を会場に、茨城県沖を震源とするマグニチュード7、震度6弱の地震発生を想定した「第20回鹿嶋市総合防災訓練」を実施しました。訓練には、地区住民の皆様や消防団、警察・消防関係者、ボランティア団体など650の方が参加され、消火器を使った初期消火や応急救護訓練、煙テント通過体験など、本番さながら緊張感を持って取り組んでいただきました。参

加された小学生からは、「今回の防災訓練を教訓に、日頃の生活に役立てていきたい。」との感想があり、「備えあれば憂いなし」の言葉どおり、今後においても継続して訓練に取り組むことの重要性を改めて認識したところです。

地区住民の皆様におかれましては、早朝より多数のご参加とご協力をいただき、ありがとうございました。

### （自立したかしま）

10月1日を基準日として実施しました、平成27年国勢調査につきましては、市民の皆様を始め市内の施設や団体などのご協力により、無事に調査業務を終了することができました。調査の結果につきましては、「人口速報集計」を、来年2月末に、その後、年齢別人口、世帯の状況などの詳しい調査結果を、同年10月末までに公表する予定となっており、これらは、行政はもとより、民間や研究機関などの基礎データとして幅広い分野で活用されます。

国勢調査にご協力をいただきましたすべての皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、今後においても、各種統計調査へのご理解とご協力をお願いいたします。

公平公正な社会の実現、国民の利便性の向上、行政の効率化を目的とした、「社会保障・税番号制度」いわゆる「マイナンバー制度」が施行され、本市においても、先月から、市内29,220世帯を対象に、個人番号をお知らせする通知カードを簡易書留で配送したところです。

現在、不在などで通知を受け取れなかった方の書簡が、順次、市役所に返戻されておりますが、日曜開庁時の手渡しを含めて、市民の皆様確実ににお渡しできるよう、懸命に対応しているところです。

マイナンバー制度の施行により、平成28年1月からは、社会保障・税・災害対策における各種手続きを行う際に、本人確認とともにマイナンバーの記載、確認を求められることとなります。

市といたしましても、制度の確実な運用に向けて、情報セキュリティ対策の充実や職員研修の徹底など、個人情報の漏えい対策には万全を期してまいります。

以上、まちづくりの実績と当面の事業概要について、ご説明申し上げます。

### 《提出議案等》

次に、提出しました議案について、ご説明申し上げます。

提出議案は、予算関係議案が3件、条例関係議案が5件、その他の議案が7件、人事関係議案が3件、合わせて18件であります。

まず、予算関係議案は、平成27年度一般会計と特別会計の補正予算に関する

ものであります。

一般会計補正予算については、高松地区避難誘導灯・避難誘導サイン整備事業、自立支援給付事業、生活保護扶助経費、救急医療対策経費、鹿嶋神の道観光強化事業、その他の市道整備事業、中学校大規模改造事業、幼稚園施設管理費、道路橋りょう災害復旧事業などを計上しております。

後期高齢者医療特別会計補正予算については、後期高齢者医療広域連合納付金を計上しております。

公共下水道事業特別会計補正予算については、職員手当などを計上しております。

次に、条例関係議案は、新たに制定するものが1件、改正するものが4件であります。新たに制定する条例は、「鹿嶋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例」であり、改正する条例は、「鹿嶋市税条例等の一部を改正する条例」などであります。

その他の議案は、「鹿嶋勤労文化会館及び鹿嶋市ときどきセンターの指定管理者の指定について」などであります。

人事関係議案は、鹿嶋市固定資産評価審査委員会委員の選任に当たり、議会の同意を求めるものであります。

以上で説明を終わりますが、なお詳細につきましては、お手元の議案書によりご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。